

鹿兒島工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	政治学		
科目基礎情報							
科目番号	0102		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	情報工学科		対象学年	5			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	授業で随時プリントを配布する。/ 授業中に適宜紹介する。						
担当教員	熊 華磊						
到達目標							
1. 民主主義的な政治体制の発展過程について説明できる。 2. 現代日本の政治制度の特徴や課題について説明できる。 3. 日本の政治における諸問題のうち、一つピックアップして、調べた上で自分なりに見解を述べることができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1		民主主義の発展過程に関する事項について深く理解し、自分の言葉で説明することができる。	民主主義の発展過程に関する事項についておおむね理解し、プリント上の言葉を使って説明することができる。	民主主義の発展過程に関する事項について理解していない。説明ができない。			
評価項目2		現代日本の政治制度に関する事項について深く理解し、自分の言葉で説明することができる。	現代日本の政治制度に関する事項についておおむね理解し、プリント上の言葉を使って説明することができる。	現代日本の政治制度に関する事項について理解していない。説明ができない。			
評価項目3		日本の政治における諸問題のうち、一つピックアップして、調べた上で自分なりに見解を述べることができる。	日本の政治における諸問題のうち、一つピックアップして、調べた内容を組み合わせて述べるができる。	日本の政治における諸問題について、自ら調べ、意見を述べるができない。			
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	政治学の基礎的な知識や考え方を身につけ、現実世界の政治的な諸問題について考察できるようにする。						
授業の進め方・方法	本科目はスライド資料、プリント資料に基づき、講義形式で進行する。 なお、主体的学習を促すために、ある程度のグループ議論も設けてある。						
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント資料に大事なポイントを穴埋めした上で、自分なりの解釈等をつける。 ・宿題はないが、課外学習として、普段から書媒体を通して時事ニュースなどに目を配り、考えることを要請する。 ・授業内容と課外学習を組み合わせた上で、レポートの作成に挑む。 						
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	政治	<input type="checkbox"/> 政治を学ぶ意義や視座について考える。			
		2週	国会	<input type="checkbox"/> 国会のしくみについて説明できる。			
		3週	選挙	<input type="checkbox"/> 選挙のしくみや意義について説明できる。			
		4週	政治家	<input type="checkbox"/> 政治家はどんな人なのかについて説明できる。			
		5週	官僚	<input type="checkbox"/> 官僚はどんな仕事なのかについて説明できる。			
		6週	政党	<input type="checkbox"/> 日本の政党の歴史について説明できる。			
		7週	政策	<input type="checkbox"/> 政策はどのように生み出されるかについて説明できる。			
		8週	税金	<input type="checkbox"/> 税金のしくみと問題点について説明できる。			
	2ndQ	9週	地方自治	<input type="checkbox"/> 現代日本の地方自治をめぐる問題について議論できるようになる。			
		10週	グローバル	<input type="checkbox"/> 政治の視点からグローバルの特徴と問題を説明することができる。			
		11週	戦争	<input type="checkbox"/> 過去の戦争はどのように扱うべきかについて議論することができる。			
		12週	国境	<input type="checkbox"/> 国境が作られる過程及び国境がもたらす問題の実態について議論できる。			
		13週	憲法	<input type="checkbox"/> 憲法の基本内容と存在意義について説明できる。			
		14週	民主主義	<input type="checkbox"/> 民主主義とはなにかについて考えることができる。			
		15週	試験答案の返却・解説	<input type="checkbox"/> 試験及びレポートについて、間違えた部分や足りない部分を自分の課題として把握する (非評価項目)。			
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0